

NY マーケットレポート (2017 年 11 月 3 日)

NY 市場では、序盤に発表された米雇用統計で、失業率が 2000 年 12 月以来約 17 年ぶりの低水準となったが、景気動向を敏感に映す非農業部門雇用者数が市場予想を下回る結果となったことや、賃金の伸びが低下したことが嫌気され、ドルは軟調な動きとなった。しかし、前月の結果が上方修正され、実質的な伸びがほぼ予想通りとなったことや、その後に発表された ISM 非製造業景況指数が市場予想を上回り、2005 年 8 月以来 12 年 2 カ月ぶりの高水準となったことが好感され、ドル買いが優勢となった。ただ、その後は週末のポジション調整などもあり、上値の重い動きが続いた。

2017年11月3日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	114.13	114.14	113.89
EUR/JPY	132.93	133.02	132.81
GBP/JPY	148.92	149.09	148.72
AUD/JPY	87.61	88.04	87.49
EUR/USD	1.1647	1.1668	1.1645

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	休 場	
ハンセン指数	28603.61	+84.97
上海総合	3371.74	-11.57
豪ASX200	5959.88	+28.17
インドSENSEX	33685.56	+112.34

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7560.35	+5.03
仏CAC40	5517.97	+7.47
独DAX	13478.86	+37.93

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	23539.19	+22.93
S&P500	2587.84	+7.99
NASDAQ	6764.43	+49.49

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	114.04	114.42	113.64
EUR/JPY	132.41	132.96	132.40
GBP/JPY	149.09	149.53	149.03
AUD/JPY	87.24	87.54	87.20
EUR/USD	1.1611	1.1691	1.1599

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	16020.16	+5.17
ボルサ指数	48534.84	+200.39
ボベスパ指数	73915.44	+91.70

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1269.20	-8.90
NY 原油	55.64	+1.10

11/6 経済指標スケジュール

08:50	【日本】日銀金融政策決定会合・議事要旨
09:00	【ニュージーランド】10月ANZ商品価格指数
09:30	【オーストラリア】10月ANZ求人広告件数
11:00	【ニュージーランド】4Q RBNZインフレ期待
16:00	【ドイツ】9月製造業受注
17:15	【スイス】10月消費者物価指数
17:30	【スウェーデン】9月鉱工業生産
17:50	～18:00
	【フランス】【ドイツ】【欧州】10月非製造業PMI
18:30	【欧州】11月センチックス投資家信頼感
19:00	【欧州】9月生産者物価指数
23:00	【メキシコ】10月消費者信頼感指数
00:00	【カナダ】10月Ivey購買部協会指数

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	1.61%	1.61%
3年債	1.73%	1.72%
5年債	1.99%	2.00%
7年債	2.19%	2.20%
10年債	2.33%	2.35%
30年債	2.81%	2.83%

ドイツ10年債	0.36%	0.37%
英国 10年債	1.26%	1.26%

11/6 主要会議・講演・その他予定

- ・日米首脳会議
- ・黒田日銀総裁 会見
- ・ユーロ圏財務総会合
- ・ニューヨーク連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21:30

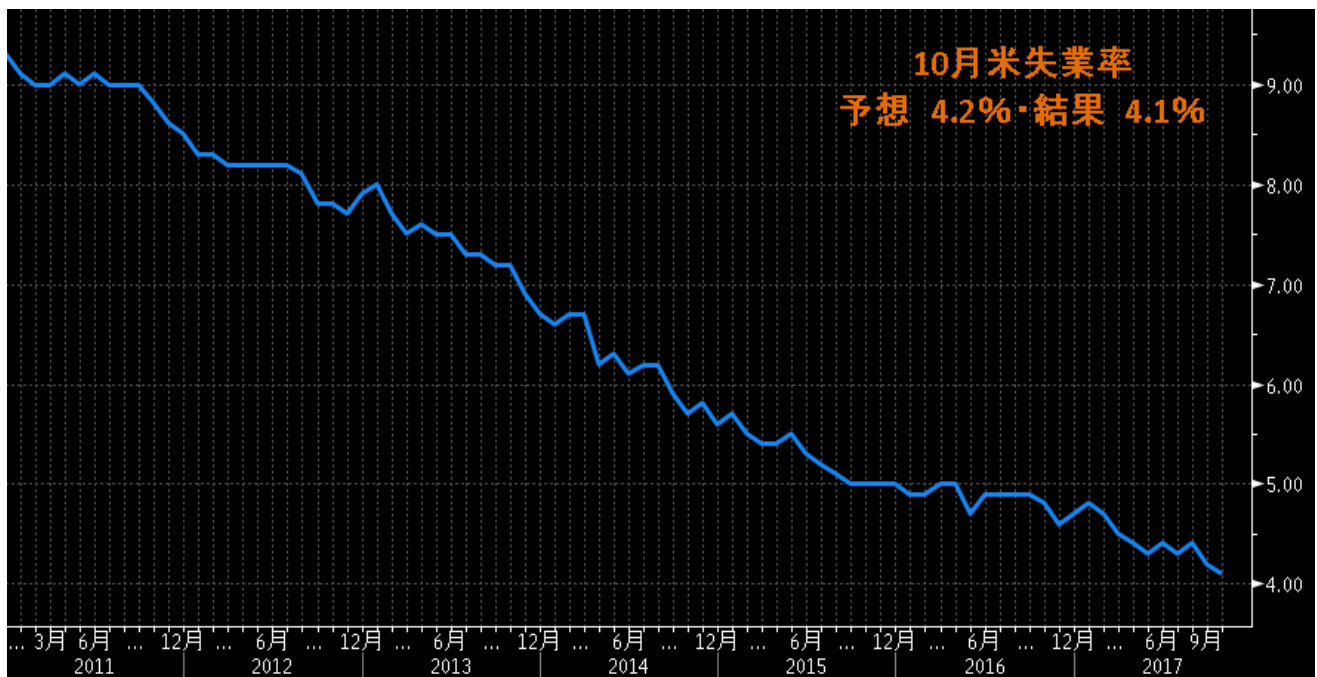
≪ 経済指標の結果 ≫

10 月米国失業率 4.1% (予想 4.2%・前回 4.2%)

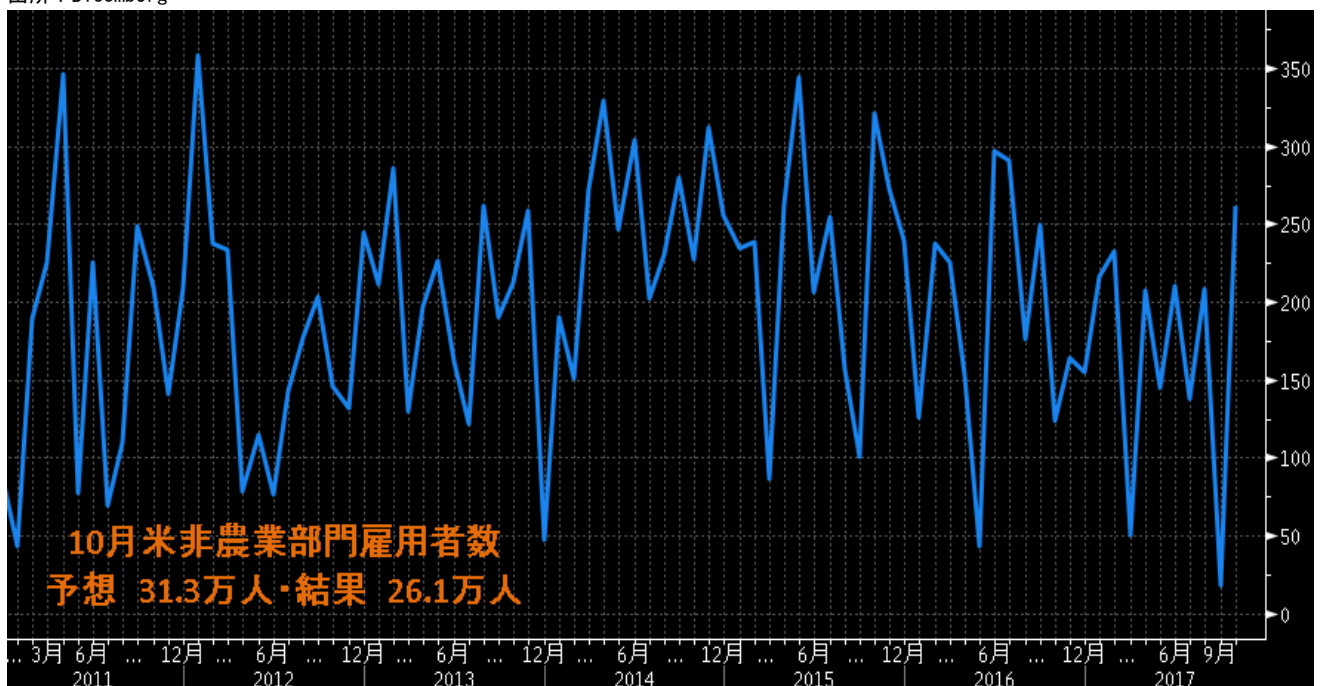
10 月米国非農業部門雇用者数 26.1 万人 (予想 31.3 万人・前回 -3.3 万人⇒1.8 万人)

10 月米国平均時給 (前月比) 0.0% (予想 0.2%・前回 0.5%)

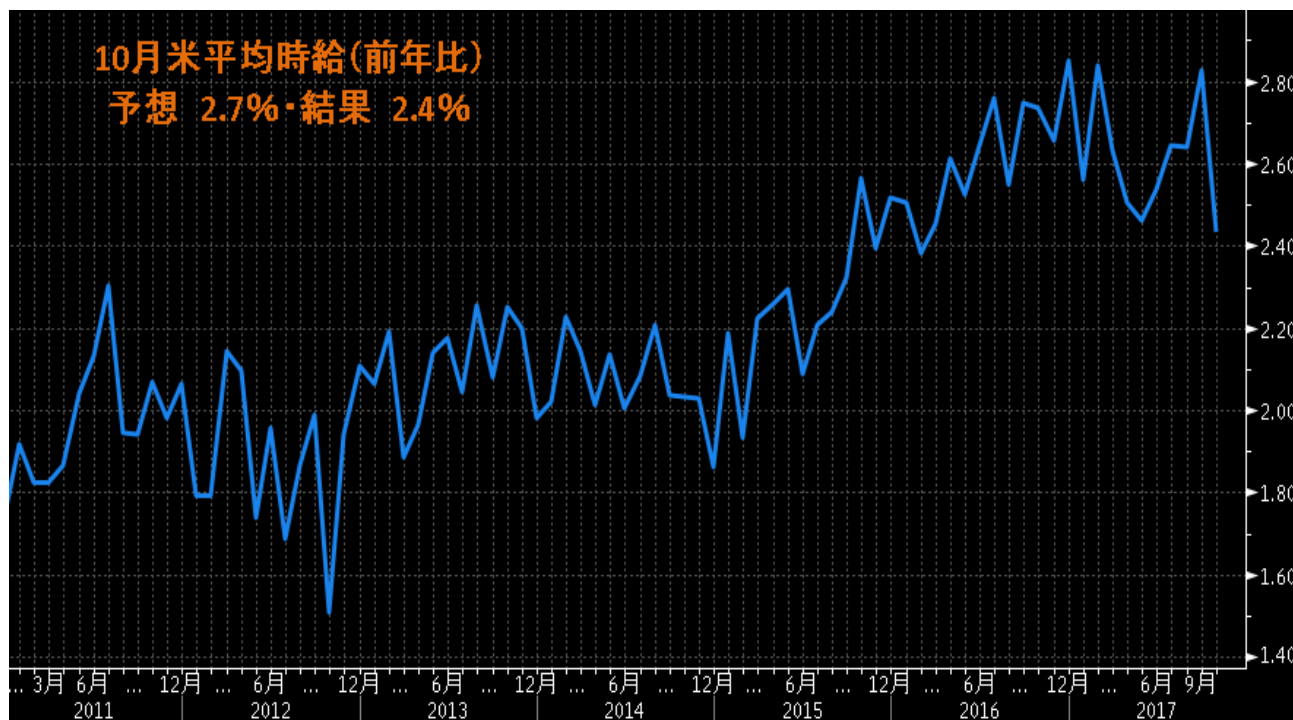
10 月米国平均時給 (前年比) 2.4% (予想 2.7%・前回 2.9%⇒2.8%)



出所: Bloomberg



出所: Bloomberg



出所：Bloomberg

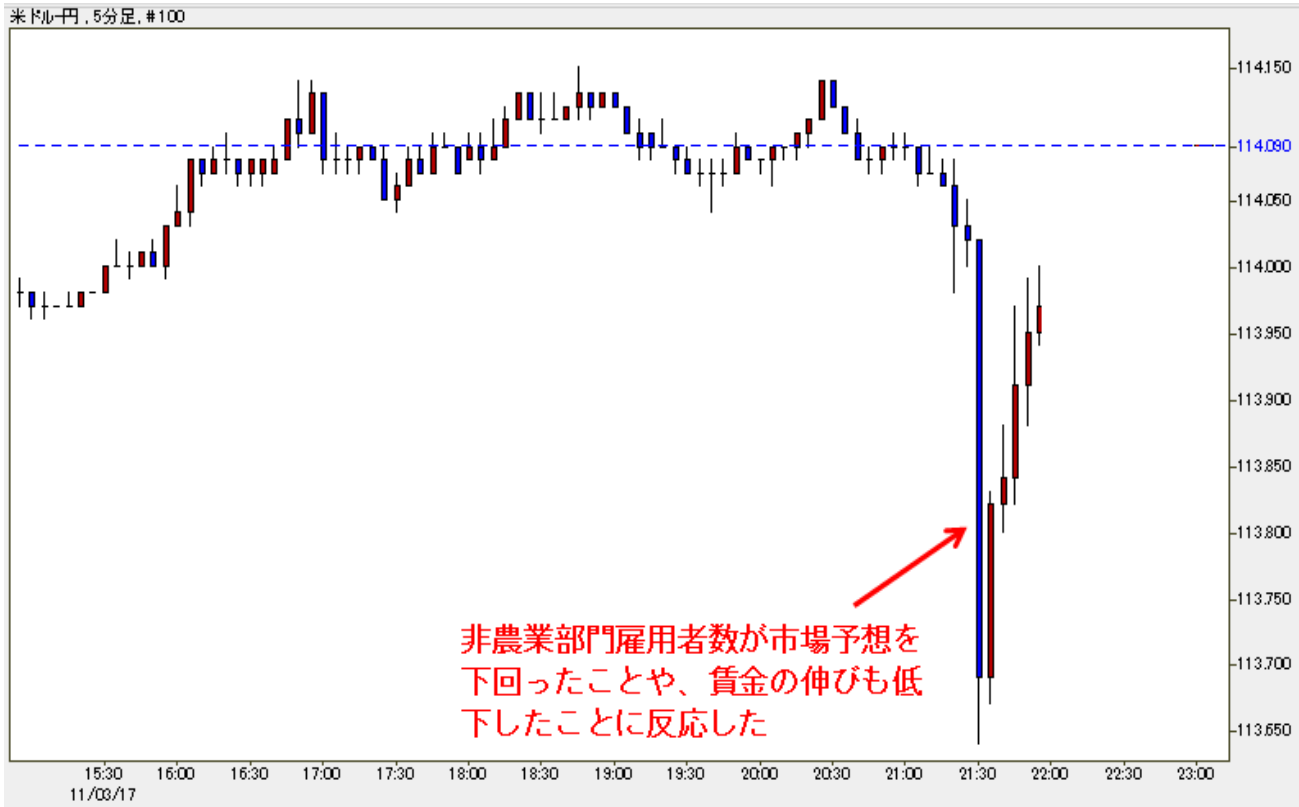
指標結果データ

《米雇用統計》

	10月	・	9月	・	8月	・	7月	・	6月
失業率	4.1	・	4.2	・	4.4	・	4.3	・	4.4
非農業部門雇用者数	26.1	・	1.8	・	20.8	・	13.8	・	21.0
製造業雇用者数	2.4	・	0.6	・	4.4	・	-1.1	・	2.1
民間部門雇用者数	25.2	・	1.5	・	18.4	・	13.3	・	20.7
平均週間労働時間	34.4	・	34.4	・	34.4	・	34.4	・	34.5
労働参加率	62.7	・	63.1	・	62.9	・	62.9	・	62.8
平均時給（前月比）	0.0	・	0.5	・	0.1	・	0.5	・	0.2
平均時給（前年比）	2.4	・	2.8	・	2.6	・	2.6	・	2.5

10月の米雇用統計では、景気動向を敏感に映す非農業部門雇用者数が+26.1万人となり、市場予想を下回る結果となった。一方、失業率は0.1ポイント低下の4.1%となり、2000年12月以来、約17年ぶりの低水準となった。9月は大型ハリケーン「ハービー」や「イルマ」の影響で雇用の伸びが大きく鈍ったが、ほぼ回復を示した。労働省は「ハリケーンによる落ち込みは10月の増加でほぼ相殺された」と説明している。

労働参加率は62.7%となり前月から低下した。また、フルタイムで働きたいのにパートの仕事しか見つからない人なども含めた広義の失業率（U6）は7.9%と低下した。1時間当たりの賃金は、前月と比べ-0.01ドルの26.53ドルとなり、前年比では+2.4%と前月から低下した。管理職を除いたベースの時給は前月比-0.01ドルの22.22ドルだった。失業期間が半年以上の長期失業者数は、前月から-11.2万人の162.1万となり、失業者全体の24.9%を占めた。



21:30

≪ 経済指標の結果 ≫

9月米国貿易収支 -435 億 USD (予想 -433 億 USD・前回 -424 億 USD⇒-428 億 USD)

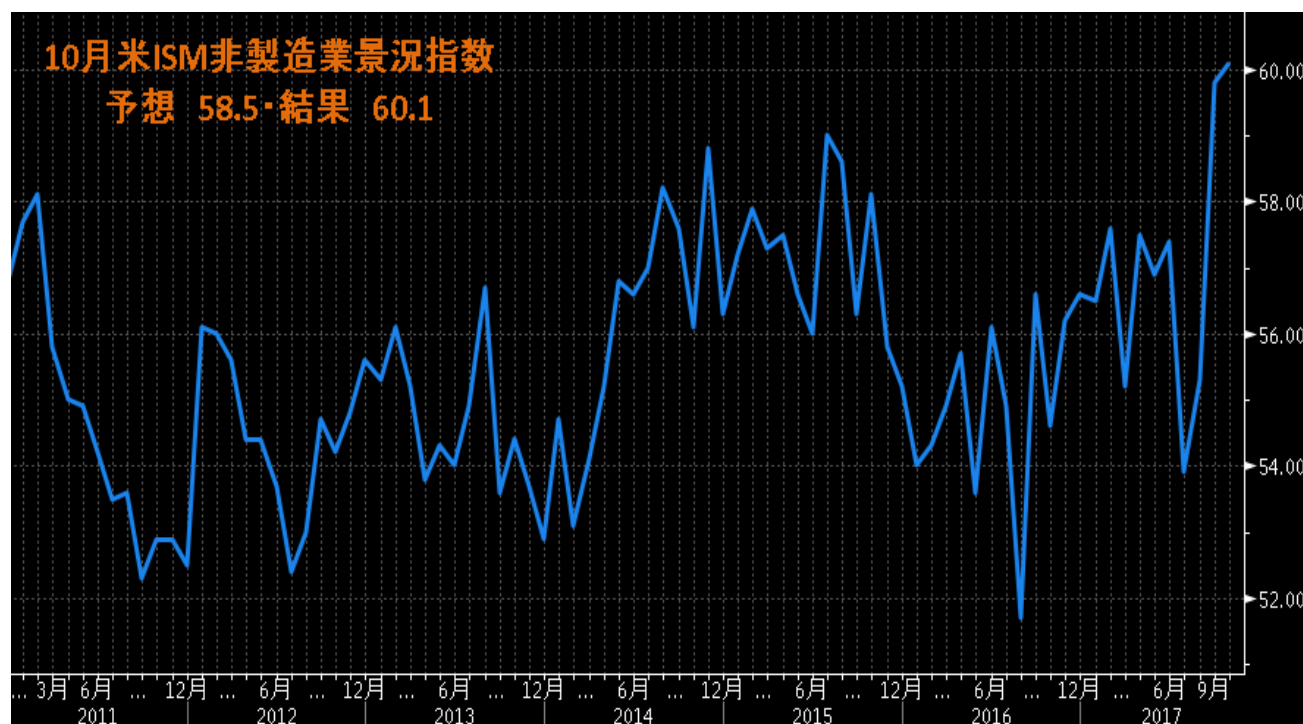


9月の米貿易収支の赤字額は、モノとサービスを合わせた国際収支ベースで前月比+1.7%の434億9500万ドルと2ヵ月ぶりに拡大した。輸入の伸びが輸出の伸びを上回ったことが影響した。輸出総額は、+1.1%の1968億1600万ドルと2ヵ月連続の増加、工業用の部品や材料の輸出が増えた。一方、輸入総額は+1.2%の2403億1100万ドルと、5ヵ月ぶりのプラス、半導体など資本財の輸入が増えた。モノの貿易赤字は+0.9%の653億8600万ドル。国・地域ごとでは、対日赤字が-26.2%の48億3900万ドル、自動車・同部品の輸入が減った。対中赤字は-0.7%、対EU赤字は-7.8%だった。

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米ISM非製造業景況指数 60.1（予想 58.5・前回 59.8）



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

10月・9月・8月・7月・6月

総合指数・・・60.1・59.8・55.3・53.9・57.4

景況指数・・・62.2・61.3・57.5・55.9・60.8

仕入価格・・・62.7・66.3・57.9・55.7・52.1

新規受注・・・62.8・63.0・57.1・55.1・60.5

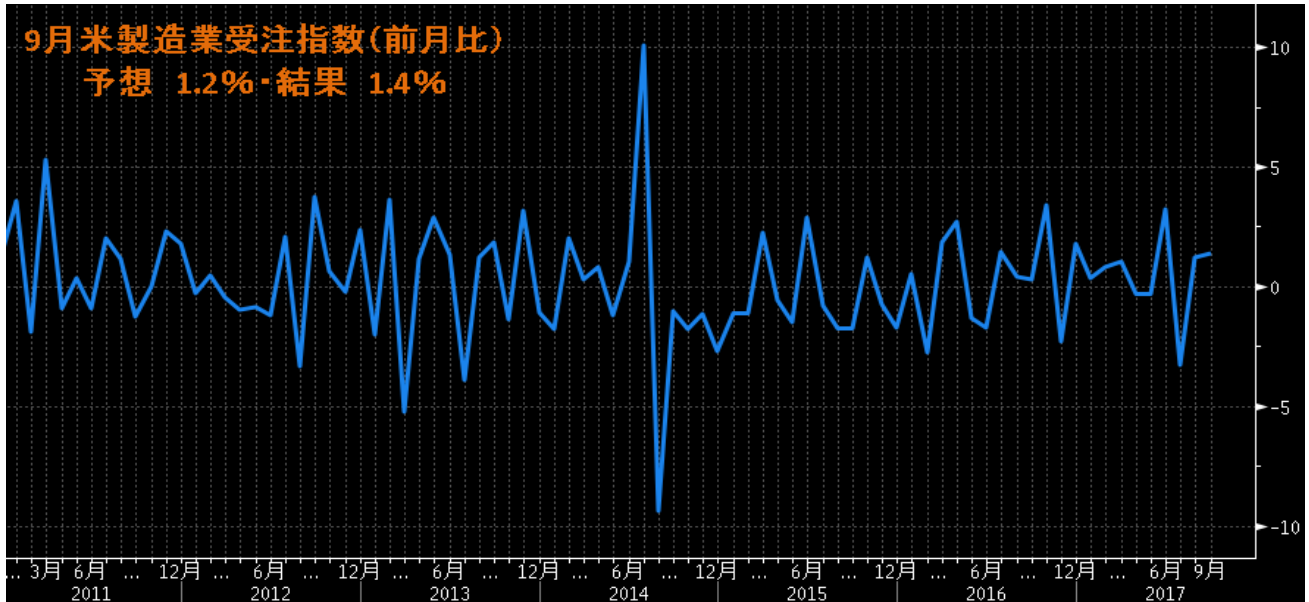
雇用指数・・・57.5・56.8・56.2・53.6・55.8

10月の米ISM非製造業景況指数は、前月から0.3ポイント上昇の60.1となり、2005年8月以来12年2ヵ月ぶりの高水準となった。景況指数が62.2（前月61.3）、雇用が57.5（56.8）、在庫が52.5（51.5）といずれも前月から上昇したが、新規受注は62.8（63.0）、仕入れ価格は62.7（66.3）と低下した。10月は16業種が景況拡大を報告、景況の縮小を報告したのは2業種だった。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米製造業受注指数（前月比） 1.4%（予想 1.2%・前回 1.2%）



◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、企業業績の改善期待を背景に、主要株価は堅調な動きとなり、英 FT100 指数と独 DAX 指数はともに過去最高値を更新して引けた。



4 : 25

◀ 要人発言 ▶

ムニューシン米財務長官

・「税制改革の後はインフラに重点的に注力」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 8.90 ドル安の 1 オンス=1269.20 ドルで取引を終了した。

NY 金は、非製造業関連の米経済指標が市場予想に反して改善し、ドルが主要通貨に対して上昇したことから、ドルの代替資産とされる金の売りが優勢となった。終値ベースでは、8 月上旬以来約 3 ヶ月ぶりの安値水準となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 1.10 ドル高の 1 バレル=55.64 ドルで取引を終了した。

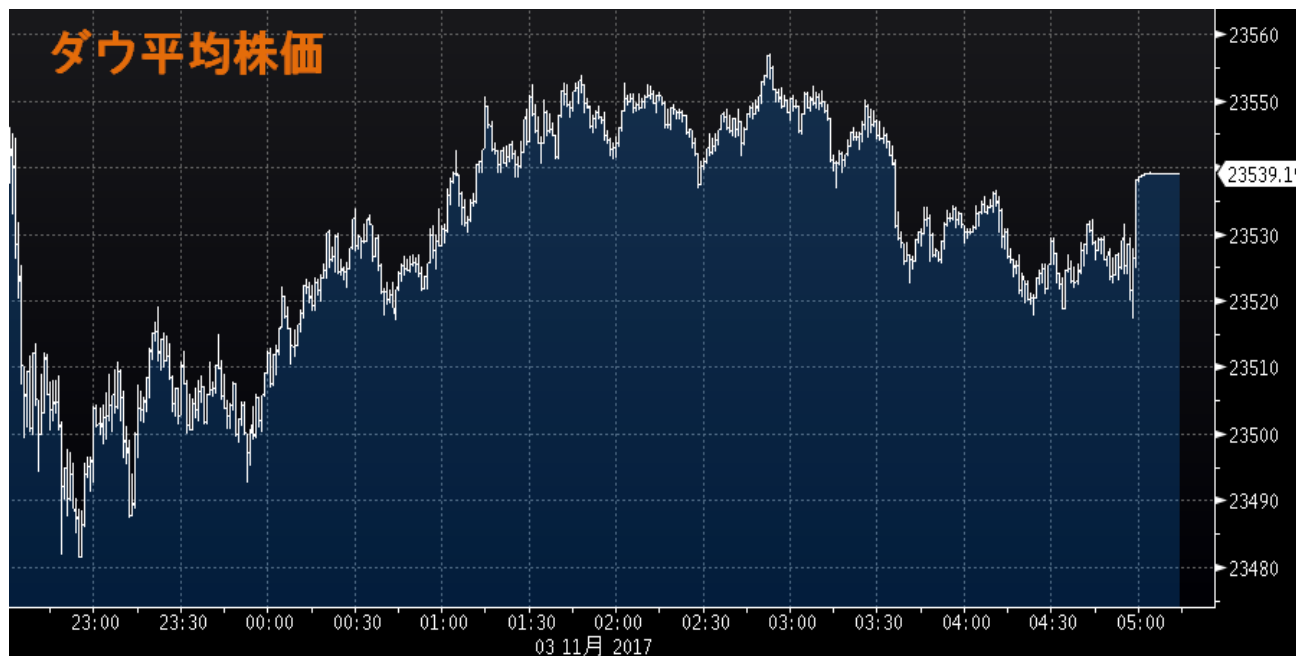
NY 原油は、OPEC 加盟国と非加盟国が原油の協調減産を延長するとの期待に加え、米石油サービス大手が発表した米国内の石油掘削装置の稼働数が減少したことで買いが加速した。終値ベースでは、2015 年 7 月以来約 2 年 4 ヶ月ぶりの高値となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、前日の引け後に発表された大手通信の 10-12 月期の売上高が前年比で最大約 11% 増となるとの見通しが発表されたことに加え、トランプ米大統領が次期 FRB 議長にパウエル理事を指名したことで、緩やかな利上げや量的緩和縮小を進める FRB の姿勢に変化はないとの見方から買い安心感が広がった。その一方で、利益確定の売りも目立ち、序盤からもみ合いの動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用統計で雇用者数の伸びが予想を下回る結果となったことを受けて、ドルは軟調な動きとなった。ただ、その後の非製造業関連の指標が良好な結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。しかし、終盤には株価や米国債利回りの低下もあり、ドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。